

中小企業地域資源
活用促進法に基づく



ふるさと名物
Furusato Meibutsu

宮城県石巻市

が応援するふるさと名物

～石巻の豊かな自然が育む恵み
と加工品～





ふるさと名物
Furusato Meibutsu

応援宣言

平成31年3月6日



宮城県石巻市

石巻市はこんなまち

石巻市は、北上川の河口に位置し、宮城県北東部地域を代表する風光明媚な都市です。伊達藩の統治下においては、水運交通の拠点に位置する「奥州最大の米の集積港」として、全国的に知られた交易都市でした。市街地は、流域の肥沃な平野に位置しており、市域東部から半島にかけては、リアス式海岸となっています。気候は海洋性の気候であり、内陸部と比べると寒暖の差が少なく、東北地方の中では1年を通して比較的温暖な気候となっています。



石巻市観光PRキャラクター「いしびよんず」

石巻地域は昔から、都市近郊型園芸地帯として発展してきました。そのため、農業生産額に占める園芸の割合が高く、トマトやいちごなどは、県内で盛んに園芸が行われている地域の一つです。また、市北部の桃生地区で栽培されている石巻桃生茶は伊達政宗公が殖産振興としてお茶の栽培を奨励したのが始まりと言われており、コクのある旨みが特徴です。

ふるさと名物の内容

ふるさと名物

主な地域資源

～石巻の豊かな自然が育む恵みと加工品～

石巻は比較的温暖な気候条件で、県内でも有数の穀倉地帯です。宮城生まれの米「ササニシキ」は石巻が日本有数の生産量を誇ります。その他にも、北限のお茶と言われる石巻桃生茶のほかトマト、パプリカ、いちご、河北せりといった野菜などバランスのとれた高度な複合経営農業が展開されています。

これらの豊かな農産物の特徴を活かした、様々な加工品商品開発を行っており、地酒などが有名です。他にも、地元産ホップを使ったクラフトビールやホップ商品も開発されています。

石巻桃生茶



パプリカ



トマト



ホップ



米



河北せり



いちご



地酒



石巻市の取組み

石巻市 6次産業化・地産地消推進事業

農林漁業者と地域の様々な事業者との連携を強化し、創意工夫による地域資源の高付加価値化を図るため6次産業化・地産地消推進センターを設置しているほか、1次産業、2次産業、3次産業を営む事業者がネットワークを形成して、新商品開発や新ブランドの確立等を行う取り組みに対して助成金を交付しています。



石巻食品輸出振興協議会

石巻市産の農林水産物及びその加工品の輸出の促進を図るため、平成28年5月に石巻食品輸出振興協議会が設立されました。海外に向け石巻ブランドの構築を進め、1年を通じて海外に輸出できるような態勢づくりを目指します。

海外バイヤーを石巻に招へいしたり、市内事業者に向けた輸出拡大に向けた研修会等を行っています。

